

学校評価(平成26年度) I

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ア;情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを受けとめ、教育活動に反映させる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○たより・通信(学校,すくすく,学年,学級,保健,献立,図書館等)の発行 ○全国学力学習状況調査結果報告 ○学校だよりの各自治会への配布 ○ホームページの運営 ○全国体力・運動能力,運動習慣等調査結果報告 ○学校教育説明会,宿泊行事説明会,入学説明会等の実施 ○家庭訪問・個人懇談等での学習内容・評価の報告</p>
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の4項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度,一昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に,児童集計は<>に,教職員集計は<< >>に入れた。いずれも(本年度,昨年度,一昨年度)の順とした。</p> <p>(1)学校は教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (8 3 % , 89%,77%) < --%, --%, --% > << 8 2 % , 82%,67% >></p> <p>(3)学校は,保護者や地域の人たちと協力して教育活動を進めようとしている。 (8 8 % , 85%,71%) < 9 1 % , 86%,90% > << 8 2 % , 65%,79% >></p> <p>(8)通知表の評価や記録は適切でわかりやすい。 (7 7 % , 84%,80%) < 8 4 % , 89%,88% > << 8 8 % , 77%,73% >></p> <p>(9)学校は子どものことで困った時,相談にのろうとしている。 (8 3 % , 63%,53%) < 7 7 % , 77%,80% > << 8 8 % , 88%,47% >></p> <p>昨年度,この領域における最大の課題となった(9)の設問において,保護者からの肯定的評価が83%と大きく伸びたことは成果として非常に大きなものである。保護者への連絡を密にすること,傾聴的姿勢を持って共感的に保護者の話を聞くことに努めてきた成果であると自信を持ちたい。</p> <p>一方,(1)の設問での肯定的評価の率が下がったことについては,謙虚に受けとめ,特に指導の様子がわかるような手立てをさらに厚く講じていきたい。</p> <p>(8)の設問については,昨年度に比べ,通知表の見方など説明にいていねいさが足りなかったものととらえ,次年度には改善を図りたい。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>学校のコミュニケーション能力の向上や問題が起こってからの対応ではなく,常日頃から児童へ教員が「寄り添う」という努力等が保護者の信頼を得,児童に良い影響を及ぼし,高い評価につながったものと考えられる。 次年度に向けて学校全体として継続的な取り組みと,各取組の更なる情報発信が望まれる。</p>

学校評価(平成26年度)Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【イ;仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】 ◎思いを仲間と共有する,お互いのよさを認め合う,集団・社会のルールを大切にす る児童を育てる。人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。 ◎地域の方との交流を大切にし,豊かな文化の育成をめざす。 ◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り,支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○教職員間の連絡・報告・相談を密にして,日常の子どもの様子を注視し,教職員 間で共通認識を持って学級集団づくり,生活規律の創造に努める。 ○縦割り清掃 ○学級・班あそび,全校あそび ○各種社会見学 ○地域探検 ○米づくり ○昔あそび ○花いっぱい運動 ○地域の方からの聞き取り ○わくわくKID'S ○平和登校日 ○人権参観 ○人権講演会(保護者向け) ○いじめ・体罰アンケート ○全ての教育活動を通じての集団づくり</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の4項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度,一昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思 う」の合計である。 ◇保護者集計は()に,児童集計は<>に,教職員集計は<<>>に入れた。いずれ も(本年度,昨年度,一昨年度)の順とした。 (2)子どもは学校を楽しく感じている。 (9 4 % , 93%91%) < 8 6 % , 82%89% > << 8 8 % , 71%,47% >> (*)児童会の朝の挨拶運動などは子どもたちの意識を高めている。 (-- % , 81%,80%) < 7 9 % , 79%,80% > << -- % , 53%,73% >> (*)学校は,地域のボランティアの方たちと協力して教育活動を進めている。 (-- % , 93%,86%) < 9 1 % , 91%,90% > << -- % , 100%,67% >> (10)学校はいじめのない仲間づくりに取り組んでいる。 (7 8 % , 71%,62%) < 8 6 % , 82%,82% > << 8 2 % , 88%,73% >> (11)学校は学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (8 4 % , 80%,73%) < 9 1 % , 88%,84% > << 8 8 % , 71%,60% >> (12)子どもたちは,あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。(指導している) (7 2 % , --%,--%) < 7 9 % , --%,--% > << 100% , --%,--% >> (2)の設問から,多くの児童・保護者が肯定的に評価をしていることを喜ばしく思うと 共に,否定的評価をしている13%の児童に注視したい。 (10)(11)の設問から,落ち着いた状態で学校生活を過ごすことができている児童の 姿を感じることができる。今年度,道徳教育に力を入れてきた成果がこの項目に表れ ているものと考え,次年度のさらなる取組につなげたい。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>子どもたちはいろんな場面で地域の人との関わりを持ち,「地域連携」の意 義と重要性,感謝の気持ちを実感できていると考えられる。 「集団づくり」「道徳教育の充実」「学習規律の育成」については,教職員 の一致した取り組みの中でその成果があがっており,保護者の高い評価につ ながっているものと考えられる。 これらの取組は,単年度だけでなく,次年度も継続したものとし,更なる 充実を図られたい。</p>

学校評価(平成26年度)Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ウ;学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし、学習における基礎・基本の定着をはかる。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○チームティーチングでの授業 ○入込授業 ○少人数分割授業 ○習熟度別授業 ○補充学習 ○授業スタンダードの確立 ○中学教員による授業 ○朝読書活動 ○本の帯コンクール ○読書感想文コンクール ○家読の推進 ○漢字検定 ○家庭学習週間 ○授業力向上校内研修 ○道徳に関する校内研修 ○全国学力学習状況調査結果の分析 ○学力診断テストの実施と分析 ○学校協議会による学校評価 ○授業アンケートの実施</p>
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の2項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度、一昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(本年度, 昨年度, 一昨年度)の順とした。 (4)中学校の先生が3～6年生に理科を教えてもらう小中連携は効果がある。 (8 7 % , 91%,91%) < 9 1 % , 85%,90% > << 8 8 % , 88%,40% >> (*)学校の算数の少人数指導(分割やTT等)は、学力向上に役立っている。 (--% , 88%,86%) < 8 3 % , 88%,85% > << 7 1 % , 77%,100% >> (*)学校の国語の少人数指導(分割やTT等)は、学力向上に役立っている。 (--% , 88%,86%) < 8 6 % , 85%,88% > << 5 9 % , 35%,73% >> (*)先生は、話し合ったり決めたりする時、子どもたちの意見や気持ちを聞いてくれる。 (--% , --%,--%) < 8 5 % , --%,--% > << --% , --%,--% >> (6)学校の算数・国語の少人数指導は、学力向上に役立っている。 (8 4 % , --%,--%) < --% , --%,--% > << --% , --%,--% >> 大阪府教育委員会からの小中連携の専科加配により、今年度を含め3年間、中学校教員が小学校で理科の授業を行う事業に取り組んできた。しかし、次年度はこの事業がなくなることから、新たな方法を考え、中学校から小学校へ授業をしにくる教員を確保しなければならない。学力を保障するための小中連携は、加配がなくともすすめる必要があると考える。 算数・国語についての、TTや分割授業での成果は、現状では頭打ちになっている状況である。さらなる研究を進め、効果を実感できる指導方法を工夫して開発したい。合わせて、教員の授業力向上にも引き続き取り組む。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>算数、国語、補充学習などを活用し、基礎学習を徹底するとともに全ての子どもの学力を向上させ、学ぶことの楽しさや喜びを実感させられたい。 教職員の評価が年々低くなっている項目があるのが気がかりである。課題を明確にし、「宿題をきっちりとさせる」「チャイム着席」など、身近なところにわかりやすい目標設定をし、教職員の一致した取組を図られたい。</p>

学校評価(平成26年度)Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【エ;心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切に、生活の向上をめざす児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○朝レク ○運動会 ○マラソン大会 ○ジョギングタイム ○全校あそび ○夏季水泳 ○外あそび奨励週間 ○非行防止教室 ○歯科衛生士によるブラッシング指導 ○交流給食 ○交通安全教室 ○着衣水泳 ○栄養教諭による授業 ○見守り活動 ○避難訓練(不審者,火災,地震) ○毎朝の登校指導 ○毎週の登校班チェック ○防災マニュアルの見直し ○校内安全点検 ○登下校メールサービス,緊急メールの運営</p>
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は以下の2項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度,一昨年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に,児童集計は<>に,教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(本年度,昨年度,一昨年度)の順とした。</p> <p>(5) 学校は,子どもたちの安全確保に努めようとしている。 (8 3 % , 86%,73%) < 9 1 % , 84%,73% > << 1 0 0 % , 88%,71% >></p> <p>(7)学校は子どもたちの体力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 (8 0 % , 82%,81%) < 7 9 % , 78%,85% > << 8 2 % , 65%,53% >></p> <p>避難訓練への取り組み方を工夫し,緊急時のマニュアルを見直し,毎朝の登校指導を続けるなど,教員側の意識は常に児童の安全確保に努めてきた。そのことは児童には伝わっていたようであるが,保護者には充分には伝わっていないととらえられる。学校での安全確保は当たり前の条件として児童に提供できるよう,さらに確度を高めたい。また,保護者へも取組の状況をうまく伝えられるよう工夫するとともに,保護者の意識も高まるような啓発を考えていく。</p> <p>今年度,「全国体力・運動能力,運動習慣等調査」が悉皆にて実施された。本校も5年生が調査対象となったが,全国の課題である二極化傾向は本校にも見られる。また,町内小学生の課題となる「ソフトボール投げ」においては,本校男子にも課題が見られる。総合的な体力向上はもちろん,投力の向上にも力を入れていきたい。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>心身の健康増進のため,数多くの行事・取組を実施されていることは高く評価できる。また,「子どもの安全」にも様々な取組がなされている。 より課題となる事項を抽出し,子どもの興味を持って楽しく体力づくりができるよう,次年度の取組の選択と集中を図られたい。 また,体力・運動能力の二極化に対し,何らかの対策・取組を講じられたい。</p>